

# 平成の三四郎 徳三宝を熱唱

## 古賀稔彦さん奄美で賛歌収録

「平成の三四郎」の異名

をとる柔道家古賀稔彦さん  
（三九）が、明治時代「講道館  
の鬼」と呼ばれた徳三宝（徳  
之島出身）をたたえる歌の  
レコーディングのため、二  
十九日、奄美市を訪れた。  
年明けにもCD化の予定。  
歌の収録は初体験という古  
賀さんは「同じ柔道家とし  
て真っ正面から当たらせて

もらった」と話した。

歌のタイトルは「柔道一  
代 徳三宝」。同市の自営  
業恵沢彦二さん（八四）が作  
詞、同じくカラオケ教室主  
宰久永美智子さん（五五）が作  
曲した。「涙で磨いた不屈  
の魂」など勇ましい歌詞に、  
力強い曲調の応援歌風に仕  
上がっている。

古賀さんへは、徳の妹の  
孫にあたる同市のセントラ  
ル楽器社長指宿正樹さん  
（五六）を通じて収録を打診し  
快諾を得た。

同社のスタジオで行われ  
た収録では久永さんが歌唱  
指導。細かい節回しなどの  
チェックに古賀さんは「練  
習しないで試合に臨む選手  
の気分」と、冷や汗をふき  
つつ約二時間にわたってマ  
イクの前に立った。収録は  
三十日まで行われる。

CD化されれば歌手デビ  
ューとなる古賀さん。「紅白  
出場を目指して、もっと練  
習します」と気合を入れた。



徳三宝をたたえる歌を熱唱する古賀稔彦  
さん（二九日、奄美市名瀬末広町のセント  
ラル楽器